

インフォメーション

【会員の皆さんへ】
会費納入について

～ お知らせとお願い ～

会長 田中幸一

これまでお知らせしてきましたように、当学会の会員・会費管理をウェブシステムに移行しました。システム移行などのため、会費の納入を停止していましたが、準備が整いましたので、会費の納入をお願いいたします。それに伴い、納入方法のご案内とお願いをいたします。皆さんにウェブシステムを使っていただかないと、システム導入のメリットが活かせません。皆さんには、コロナ禍で大変な折ではありますが、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

1. 会費納入のご案内

会費納入の手続きは、ウェブシステム（会員マイページ）から行って下さい。操作方法は、同封しました「**会員マイページ操作ガイド：会費の納入**」をご覧ください。

2. 会費納入方法

従来の郵便振替口座は解約いたします。今後の納入方法は次の3つになります。(1)クレジットカード決済（1回のみ）、(2)クレジットカード決済（2年目以降自動継続/毎年5月1日

請求）、(3)銀行振込。詳細につきましては、同封しました「操作ガイド」をご覧ください。便利で、振込料金の個人負担がないクレジットカード決済を推奨します。特に、(2)年目以降自動継続を選択されますと、来年度以降の手続きが不要になります。

3. メールアドレス登録、会員マイページへのログインのお願い

ウェブシステムを使うには、学会にご申告いただいている電子メールアドレス（以下、メアド）をIDとして、会員マイページにログインしパスワードを設定していただくことが必要です。多くの会員はご自身のパスワードを設定されていますが、まだ会員マイページにログインされていない方は、**ログインしてパスワードをご設定下さいますよう**、お願いいたします。ログインのやり方は、3月にお送りした「**会員マイページ操作ガイド**」をご覧ください（操作ガイドは学会ホームページの「入会・会員ページ」にもあります）。

昨年度時点でメアドをご申告いただいている方は、そのメアドをログインIDとしてすでに登録してありますが、そのメアドが現在無効になっている方や、メアドが未申告の方は、学会事務局までご希望のメアドをご申告いただく必要があります。登録・変更の連絡は、次のようにして下さい。

メール宛先：nory@nsc.nagoya-cu.ac.jp（片

山詔久庶務幹事)

件名：クモ学会メールアドレス

なお、会員マイページにログイン後は、ご自身でメールアドレスを変更できますので、申告済みのメールアドレスが利用可能であれば、そのメールアドレスで初回ログインの上（パスワード設定用 URL を受け取る必要があります）ご希望のメールアドレスに変更して下さい。

4. 学生会員へのお願い

卒業により、学生会員でなくなった場合は、片山庶務幹事（nory@nsc.nagoya-cu.ac.jp）にメールでご連絡下さい。会員データベースにおける一般会員への変更操作は、ご自身では変更できず、庶務幹事が行います。事務局で会員種別を変更し、一般会員として会費請求を行いますので、その後に会費を納入して下さい。

5. 会員情報に変更があった会員へのお願い

所属、住所、メールアドレスなどに変更があった場合は、会員マイページから変更して下さい。

6. 会費未納者へのお願い

本学会の会費納入規程には、「6. 前年度および前々年度の会費を未納のものは、退会処分にし、本人に通告し、会員名簿より削除する。」と定められています。会費未納者は、昨年度までの未納分を含めて2021年度会費を納入して下さい。次回の会費請求の時（2021年12月）から、本規程通りに運用し、2020年度および2019年度の会費を未納の会員は、退会処分とする予定です。お早めに納入をお願いいたします。なお、経過措置として、現時点で5年以上未納の会員は退会処分といたします。

第53回大会 オンラインで開催予定（11月）

大会長 田中幸一

第53回大会は、東京農業大学で開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況から、昨年度に引き続きオンライン開催といたします。開催時期は、11月下旬頃を予定しています。昨年度は午後半日でしたが、今年度はより充実したものとするため、開催期間を1日として、シンポジウムおよび学生発表賞対象の一般講演などを入れる予定です。日程など決まりましたら順次、学会ホームページでお知らせいたします。多数ご参加くださいますようお願いいたします。

言いたい！聞きたい！

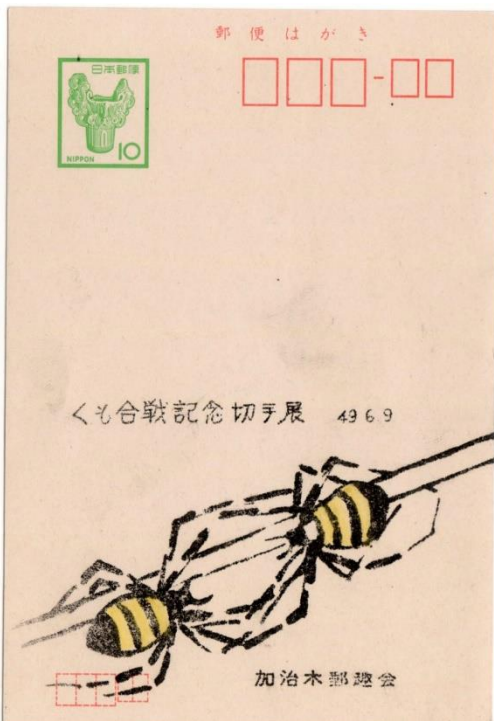


クモ切手の風景

16

笹岡文雄

郵便制度に切っても切れないものに消印があります。ご存知の通り通常ポストに投函すると、通常差し出し日と取り扱い郵便局名が入った印が押され受取人へ配達されます。それとは別に観光地などの郵便局ではその土地の名所などの図案入りの通称「風景印」という直径36mmの大きさの特殊な消印を押してもらえます。単なる観光地用のスタンプでなく、正式な消印です。正式には「風景入通信日付印」で、これは1度作成されるとかなり長く使われま



す。さらにこれとは別にイベント用に申請すれば作ってもらえる一周り小さい記念印「小型記念通信日付印」があります。イベント用なのでさらに使用局と期間に限られます。

前置きが長くなりましたが、加治木郵趣会作成の切手展 3 枚組の記念はがきです。コガネグモの絵は私製印刷になります。押されているのが切手展用の加治木局の記念印です。はがきに宛名を書かずに風景印や記念印を押したものを官白（かんぱく）といいます。郵趣家の収集対象となっています。展示会の記念としては手っ取り早く作成でき、収集のアイテムとしてもそれなりの価値があります。



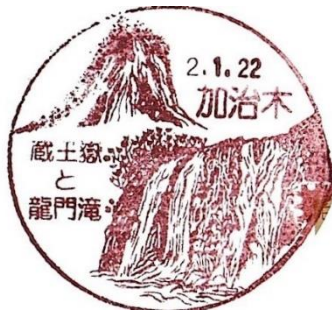
ただ今回加治木郵趣会の情報は見つからず、また切手展の内容も不明でした。クモ切手を集めた展示会だったのででしょうか。現在は加治木のクモ合戦は6月第3日曜日ですが、当時は6月10日に近い日曜日だったそうで、消印の日付6月9日が日曜日で、合戦の当日開催の切手展だったようです。ちなみに現在加治木町は2010年3月に合併して始良市になりました。旧町時代と同じ郵便局加治木局はそのまま残っています。局では風景印が使用されていて、現在の図案は山と滝、旧版にはあったクモ（クモ合戦）の図案は入っていません。

移りゆくクモ相

谷川明男



旧版



新版

もう40年近く前のことになるが、西表島に通り始めたころ、島で採集したクモのうち、種同定できたのは半分にも満たなかった。その現実に直面し、この島のクモ相を解明しようなどと考えていた。その後、たくさんのが日本新記録種だ、新種だ、と判明していき、けっこうわかってきたころから新たな疑問がわいてきたのだった。それは、クモ相の解明に終わりはないのではないか？というものだ。クモ相というのは静的なものではなく、動的なものなのではないだろうか。

最初のころによく目にしていたトガリシロカネグモはやがてほとんど目にすることがなくなり、逆に最初のころには全く見たこともなかったオオハラダカグモがよく見られるようになった。チヨコアシナガグモは一時わずかに見られたが、その後ぱったりと姿を消した。

最近になって、同じようなことを改めて身の回りで感じている。自宅の団地の階段では、2020年の夏から秋にかけての数ヶ月ほどの間に優占種がイエオニグモからズグロオニグモに変わった。東京都や群馬県でツツゲホウグモが見つかって驚いていたが、最近神奈川県内でも立て続けに見られた。ツツゲホウグモは初めて西表島に行ったときに見つけて「さすがにヤマネコの島だ、こんなクモがいるのかぁ」と感動したものだ。そんなクモが地元で見られるようになったのだ。

津久井湖畔の津久井城山は、高校の教員時代からよく訪れていた場所だが、そのころには全く見たことのなかったシマゴミグモやギンナガゴミグモが今では普通に見られるようになった。ギンナガゴミグモは、昨年、秦野市のくずはの家の周辺で見つかったというのが神奈川県初の記録になったが、もう津久井にもたくさん生息している。

ジョロウグモが北海道で発見され、オオジョロウグモは屋久島・種子島、そして大隅半島でも見られるようになった。

このように、いろいろなところでそれまで見たこともなかったクモが見られるようになっている。どこどこの新記録というのはどんどんと発表されているが、それは、その地域の調査が遅れていたために今まで見つけられずに記録されていなかったというものだけではないだろう。いままでその地域に生息していなかったクモが侵入してきて新たに生息することによるものもたくさんあるに違いない。また、その逆に姿を消してしまっているクモもたくさんいるはずだ。

きっと何年たっても新記録のネタは切れないうことであろう。それは、クモ相は一定の静的

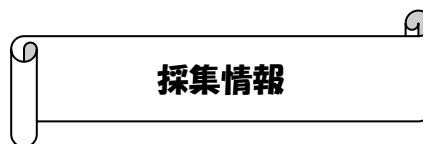
なものではなく、常に変動を続けている動的なものだからだと痛感している。



クモの巣ハンドブック

馬場友希・鈴木佑弥・谷川明男

112p. 文一総合出版 1500円＋税



日本各地で採集された稀産種や、都道府県初記録、島初記録、南限更新、北限更新など分布上の重要情報について掲載する。これを読み、

「私もこんな種類を採集しているぞ」という方はその情報を是非お寄せいただきたい。

【このコーナーに掲載する記録は、証拠標本か、同定のキーとなる特徴がはっきりと撮影されている写真かのどちらかがあるものに限らせていただきます。目撃談のみのものにつきましては取り上げません。また、幼体の記録についてはいろいろと議論のあるところですが、とりあえず现阶段では、投稿があれば参考記録として掲載を継続させていただきます。しかし、**幼体での記録は誤同定の危険が大きいですので、可能な限り避けてください。**】

キエビグモ 山梨県富士吉田市上吉田 鐘山苑庭園 2018年5月20日 1♂ 納谷典明採集同定

ドウシグモ 鹿児島県屋久島町栗生 2021年3月30日 2♂2♀ 小西祐伸採集同定・谷川明男確認

タイリクアリグモ 鹿児島県屋久島楠川 2021年4月30日 小西祐伸採集同定・須黒達巳確認

リュウキュウアシナガグモ 鹿児島県種子島 2016年6月21日 1♀ 谷川明男採集同定。宮崎県宮崎市田野町 2018年9月18日 1♀ 谷川明男採集同定

リュウキュウコモリグモ 鹿児島県徳之島町手々 2021年4月16日 1♀ 谷川明男採集同定

ツツゲホウグモ 神奈川県愛川町 2021年5月12日 1♀, 神奈川県山北町 2021年5月12日 1♀ 谷川明男採集同定

(新海 明・谷川明男集約)

遊絲原稿送付先

〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603
新海 明まで

E-mail では dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp (谷川明男) まで

遊絲の発行は、年2回(5月, 11月)の予定。
投稿締切は発行月の前月末日(4月末と10月末)です。

日本蜘蛛学会

homepage : <http://www.arachnology.jp/>

Atypus 閲覧のパスワードは asj

会費の納入, 住所変更などは会員マイページでのご操作をお願いいたします。

年会費 正会員 7000 円 (学生は 5000 円)

会長・幹事

会 長

田中 幸一 kt206540+at+nodai.ac.jp

庶務幹事

村田 浩平 kmurata+at+agri.u-tokai.ac.jp

片山 詔久 nory+at+nsc.nagoya-cu.ac.jp

会計幹事

甲野 涼 spidercatchup-at-yahoo.co.jp

編集幹事

山崎 健史 k0468874+at+gmail.com

図書幹事

原口 岳 h1r1g3ch2+at+gmail.com

遊絲 第48号

2021年6月5日発行

編集者 新海 明, 谷川明男, 池田博明

発行者 日本蜘蛛学会 会長 田中幸一
